

水無みよう

第13号

2組織今後、どう連携

予算額3,217万円「東地域広域協定」

井口寛会長×佐藤成孝地域づくり協議会々長

対談

これまでの農地・水が新しい形で「多面的機能支払交付金」制度として今年度からスタートした。これに伴い「東地域広域協定」=以下東協定と記す=が設立された。地域づくり協議会と共に東の大きな組織だ。10月23日東開発センターで両会長が対談した。進行は関正太郎協議会広報担当。高橋正博、和田浩信両専任事務局が同席した。(敬称略)

△足並み揃うまでが大変

関 今日はどなた様もありがとうございます。東協定の設立までの経過と現状を教えて下さい。

井口 平成19年に農地・水が発足し、取り組んだところと取り組まなかったところがあったのですが取り組んだところは集落単位が多かったです。ところが2期2年目の25年度末に突然「東全域一体にしないか」と市から話がありました。それまで取り組んでいた集落は趣旨が分かっていますが初めての集落はなかなか大変だったようです。ようやく区長任期が終わりそうなときでしたから、それから3、4、5月と足並みが揃うまでが大変でした。

6月に発足しお盆過ぎから趣旨が理解され始めている感じです。田んぼの区画整理が終えた集落は農道や側溝の修繕などが多く、この多額の予算をどうしたら有効に使えるかと思案しています。

§ バッティングはなかつたがさらに協議

関 佐藤さん、地域づくり協議会の予算額は26年当初予算額530万円余りで東協定に比べ少ないとはいえたような面もあり混乱しなかつたでしょうか。

佐藤 だぶるとすれば、赤線・青線の補修など私たちが基礎事業といっている部分ですがこれまで混乱はなかつたですね。東協定は農業主体で私のほうは地域が主体ですから。そういうても来年度以降は両者で話あって農道や農業用水路は東協定、生活関係は地域づくりというようにバッティングしないよう、区長様がたに説明して行きたいと思っています。

§ 背景にある「大勢で楽しく付き合うことの少ない現実」

関 地域づくり協議会も協定も南魚沼市独自でもなければ新潟県だけでもありません。全

| | |
|--------------------|-----------|
| 東地区地域づくり協議会々報 | 写真右から |
| 発行 平成26年11月1日 | 井口東協定会長 |
| 発行責任者 佐藤成孝 | 関広報担当 |
| 茗荷沢268番地1(東開発センター) | 佐藤地域づくり会長 |
| 電話 025-779-3312 | 高橋同士務局長 |
| | 和田浩信撮影 |



多面的機能支払交付金(農地維持・資源向上)協定

東は全集落(大倉単独)が協定。
開始年度別内訳

19年度~(順不同)

黒新 茗荷沢 山新 み
よう山組(門前 高田 谷
地 山崎 前原町) 雷土
革新

24年度~

桐沢 芋赤 湯谷

26年度~

舟ヶ沢 黒土 荒山 堂島
荒金 茗新 東集落

運営委員会役員

△会長 井口寛(黒新)
△副会長 上村育弘(湯谷)
△会計 櫻井和浩(門前)
△監事 高野宏光(茗荷沢)
△専任事務局 和田浩信(雷土)

南魚沼市14組織のなかで東は中之島に次いで2番目の規模

| 組織 | 集落数 | 農地(ha) | 金額万円 |
|-----|-----|--------|---------|
| 浦佐 | 5 | 206 | 1,037 |
| 敷神 | 9 | 411 | 2,172 |
| 大崎 | 8 | 437 | 2,190 |
| 東 | 16 | 630 | 3,217 |
| 六日町 | 10 | 290 | 1,516 |
| 五十沢 | 21 | 517 | 2,565 |
| 城内 | 21 | 590 | 2,907 |
| 大巻 | 8 | 403 | 1,963 |
| 塩沢 | 13 | 444 | 2,306 |
| 上田 | 17 | 528 | 2,725 |
| 中之島 | 20 | 780 | 4,158 |
| 石打 | 8 | 167 | 864 |
| 大倉 | 1 | 19 | 92 |
| 南田中 | 1 | 14 | 74 |
| 合計 | 158 | 5,435 | 2億7,600 |

国で実施されています。背景にどんな現実があると思いますか。ざっくばらんにお願いします。

井口 コミュニティ不足ですね。農業用水路排水路は連携しなければ維持出来ません。区画整理していない農地は耕作する人がいません。民生委員にも住民名簿は出せない時代でしょう。消防演習には出るし、酒は好きでも演習後の飲み会はない。会社の慰安旅行で酌をしあって飲むのは嫌。農業後継者はいない。維持だと資源向上だとかいっているけど、このままでは中山間地は絶えてしまうので。お金をやるからコミュニティを構築してくれということだと思います。

佐藤 基本的には井口さんと同じ考え方です。ただ言うのは簡単ですが、コミュニティの構築なんていうのはそう簡単ではありません。それなりの長い実績が必要です。今年で7年目ですが昨年の区長のアンケートでようやく地域づくり協議会への理解が深くなっているのが分かりました。

△鉛筆の太さと公金意識の共有

関 細かいことを延々と言うと、それなら止めた、ということになるし、かといって原資は市のものでも県のものでもまして國のものでもあります、税金です。会長としてそれぞれ難しいところだと思います。

井口 これまでの会議で「この事業の原資は税金だから不適切の次は違法になり、大変なことになるので注意して下さい。」「全体会では通り一遍のことしかいえないのに必ず個別の事は事務局を通して下さい。」「少し鉛筆が太くなつたぐらいは良いがそれだけは注意してもらいたい。」と話しています。

佐藤 10万円であれ100万円であれ公金を使うという時はまともな使いかたをしなければならないところが難しいんです。しっかり監査をしてもらい後で問題が出(裏ページに続く)

(表から続く)

ないようにしなければなりません。地域づくりは、事業として使える金額は約300万円ですが、集落の公平を考えています。街灯のLED化は良いことで設置も簡単だから他の事業をしない集落に入れるようにしてきました。税金が原資なので公平も大事です。事務局長がしっかりと区長様と話合っているので助かっています。

§ 公平と重点力所の判断

関 地域づくりは公平が大切ですが東協定の場合やらなければならない箇所を重点的に配分するのも東に一本化した良さになるのではないかですか。

井口 東協定でそれは自由に出来ます。でも最初から300万円をどうするというところから始めると收拾がつかなくなりかねません。そこで今年はだいたい基準面積をめどにそれぞれ事業をしています。ただ山分けは通用しません。これからは指摘のような方向へ向いても良いと思います。そのとき重点が荒山になるのか、黒新になるのか、革新になるのかそれは分かりませんが、当然みんなが必要だと認めた箇所でなければなりません。

佐藤 基準農地面積はあるけども、雷土はいくらあそこはいくらだからということではなく合計一括してお金が来るので役員と地域で話し合って自由に使ってくれという事でしょう。

井口 そうです。話し合うというのがコミュニティですが、最初に話したことの繰り返しになりますけど、これがなかなか難しいですね。物好き人間がいなくなつたね。余裕もないですし。話は飛躍しますが仲良し活動だけでは生きて行けません。お金になる、稼げるなにかがないと地域は成り立ちません。

佐藤 そうはいっても、やれる立場、やれる年代の人が役員になってそういう尽くす覚悟を持たないという組織は成り立ちませんよ。

井口 飲んだり食べたり話したり楽しくなければ人はまず集まりません。仲良く、円満にとい

東地区一本化に伴い 重点力所への配分も

うのが大切です。

§ 大きい事務局の役割

井口 農地・水のスタート時は役所自身怖かったんでしょうね。「こんなばらまき政策をするから不祥事が続発するのだ、悪い根源は政策そのものだ」といわれるのが一。細かい書類の提出を求められました。でもその後ずいぶん改められ負担は軽くなっています。

とはいえ事務局の役割は大きいですね。会長は全体の方向を示す。それを受け実務は事務局が中心となり実行していくのですから。

§ 役所の態勢はどうか

関 両組織に対する市役所の態勢はどうですか。

佐藤 やる気をもって対応して頂いています。大和センターが窓口で近くで便利です。真剣に相談にのってくれます。市には市のルールがあるから東だけという訳にはいきません。そこでより使い勝手の良いルールを今後提案していきたいと思っています。検討して頂けると思っています。

関 それがどうした、だからどうという訳で



多面的機能支払説明会（4月）開発センター

わった中で、雪が降れば事業が出来ずに予算未消化となりますから心配しています。

佐藤 6月に設立して、実際に東全体で仕事を始めたのは7月ですよね。農作業もあり、時間的にしょうがないと思う。未消化分は翌年に繰り越すなどの柔軟な対応が必要でしょう。

井口 それと先進地視察を行い、優良事例をこの地域に振興したいですね。

§ 東地域開発センターの改築ないし新築 里山文化祭

佐藤 いい機会ですので二点、東の皆さんにお伝えやらお願いしたいことがあります。一点は東地域開発センター建物の件です。建てられたのが昭和47年だそうですからかなり経っています。開発センターが地域づくり協議会の拠点となっている事実はアンケートでも7割以上に知られています。大勢の人が身近に感じているんですね、この建物を。2階はヒビも入っているようですし大規模改修がいいのか新築がいいのかそれはこれからの判断ですが、とにかくなんとかしたいと考えています。地域の防災拠点としての役割も求められます。

こういう話は今日言って明日にという訳にはいきません。浦佐も藪神もそれなりの建物になっているので、地域の大勢の方から理解頂き、地域づくり協議会役員や区長会と話合いながら、話を進めて行きたいと考えています。

もう一点は里山文化祭です。11月の8日～10日まで荒金の八海山麓体育館を会場にして地元の幅広い作品を展示します。当協議会が事業主体で今年「過疎集落自立支援事業」に取り組んでいます。予算1,100万円余りですが今年度限りです。先般大学生と地元が稻刈りで交流したのと同じ事業です、事業は単年度でも来年度以降も続けたいと思います。東地域の更なる安心・安全のため全力で取り組みますので、是非支援をお願いします。

関 大変長い間ありがとうございました。
(開始午後4時～終了同5時)